

いきいき南丹

—33—

お元気ですか？
保健師です。



新型インフルエンザに注意

「感染の疑いがあれば、医療機関に電話を！」

世界では死者1,400人超

全国的に感染が広がっている「新型インフルエンザ」。集団感染や患者の重症化が懸念されています。

南丹保健所管内でも新型インフルエンザの流行がみられています。主な症状は38度以上の発熱、せき、全身のけんたい感です。感染力が強いものの、多くの患者が軽症のまま回復されています。

しかし一方では、世界保健機関が発表した8月6日時点での新型インフルエンザによる死者は、累計1,462人に達し、国内でも死亡例が報告されています。

秋冬には感染拡大が予想され、今後ウイルスが変異する可能性もあります。また、糖尿病やぜんそくなどの持病がある方、妊婦や乳幼児、高齢の方は重症化する恐れがあるので特に注意が必要です。

徹底した予防を！

感染した人のせきやくしゃみ、つばなどと共に放出されたウイルスを吸い込んだり、ドアノブなどウイルスが付着したものに触れてから目・鼻・口に触れたりすると感染することがあります。

手洗い、うがい、マスクの着用を心掛け、栄養や睡眠を十分にとって感染を予防しましょう。

また、持病がある方は、念のためかかりつけ医に相談しておきましょう。

流行している場所に行かない。人ごみを避ける。マスクを着用する。

手洗い・うがいをきちんと行う。咳エチケットを心がける。

栄養や睡眠を十分にとり、体調を整える。



受診方法

インフルエンザかな？と思ったら



発熱・せきが出る・体がだるいなどの症状「もしかして…、新型インフルエンザ?！」

まずは電話を！



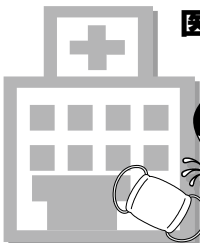
医療機関に事前に電話をかけて、受診時間や入り口について指示を受ける。



感染の拡大を予防しよう！

公共交通機関の利用は避け、できる限り自家用車などを利用する。

医療機関の指示に従って受診



受診の際は、マスクを着用。マスクがない場合はせきエチケットを心掛け、ほかの患者から離れたところに座る。

「新型インフルエンザ」と診断されたら

医師の指示のもと、ほかの人への感染を予防するために、症状の始まった日の翌日から7日間、自宅療養してください。入院は重症の方のみとなります。

患者の家族（同居者）は、外出を控えてください。発熱などの症状があれば、医療機関に電話をしてから速やかに受診しましょう。

新型インフルエンザ相談窓口

かかりつけ医がない、受診先が分からない、自宅療養について相談したいなど、お問い合わせください。

◇南丹市健康課 相談窓口

Tel 0771-68-0016
(平日の午前8時30分～午後5時15分)

◇南丹保健所 相談窓口

Tel 0771-62-2979
(平日の午前8時30分～午後5時15分)

<最新の情報はホームページで！>

南丹市 <http://www.city.nantan.kyoto.jp>

厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp>

京都府 <http://www.pref.kyoto.jp/shinflu/>